

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

2022年3月29日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社 UACJ アルミセンター

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

当社は、UACJ グループのコイルセンターとしてアルミニウム製品の販売を行うとともに、アルミニウムを焼付塗装したカラーアルミ製品の製造・販売を行っています。

UACJ グループは、2021年5月に「UACJ VISION 2030」を公表し、その中で「2030年度におけるサプライチェーン全体でのCO₂排出量を2019年度比22%削減（BAU比 ※1）」することをKPIとして設定しています。

今回の計画では、カラーアルミ製品を製造する宇都宮カラーアルミ工場において、省エネ性能の高い設備を導入することにより、製品の製造時に排出されるCO₂排出量を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

※1 BAU(Business as usual)：何も対策を講じずに現状（生産量、品質構成）を維持した状態

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2021年度より事業適応を開始し、2023年度（目標年度）までに宇都宮カラーアルミ工場の炭素生産性を40.9%向上することを目標とします

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2023年度（計画終了年度）に経常利益を計上することを目標とします。

(4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

23 非鉄金属製造業

計画の対象となる事業は主にカラーアルミ製品を製造するものであるため

(6) 事業適応の具体的内容

当社の宇都宮カラーアルミ工場において次の設備を導入します。

2021年度には、工場の天井照明にLED照明を導入します。当該投資により、稼働当たりの電力費及びCO₂排出量は低減し、炭素生産性が向上します。

2022年度には、排ガス処理設備（インシュネレータ）を省エネ性能の高い蓄熱式タイプに更新します。当該投資により、生産量当たりの燃料費及びCO₂排出量は低減し、炭素生産性が向上します。

2023年度には、乾燥炉のオープンダクトを更新します。当該投資により、乾燥炉の温度効率は高まり、生産量当たりの燃料費及びCO₂排出量は低減し、炭素生産性が向上します。また、工場内のトランスを省エネ性能の高いタイプに更新します。当該投資により、電圧変換効率は高まり、稼働当たりの電力費及びCO₂排出量は低減し、炭素生産性が向上します。

これら一連の取り組みにより、工場全体の炭素生産性を向上させていきます。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2022年3月

終了時期 2024年3月